

## ②名古屋の水循環について

名古屋市では、水や緑あふれる快適な都市環境をつくることを目的として、「水の環（わ）復活 2050 なごや戦略」を策定しました。

今回のアンケートでは、「水循環（水の環）」について、市民の皆さまの印象や考え方をおたずねし、「水の環復活 2050 なごや戦略」で掲げたこれまでの実行計画の見直しをするための参考とさせていただきます。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

### <水循環について>

地上に降り注いだ雨や雪は、一部は蒸発し、また一部は地中にしみこみます。しみこまなかった分は、河川に流れて海に注ぎます。

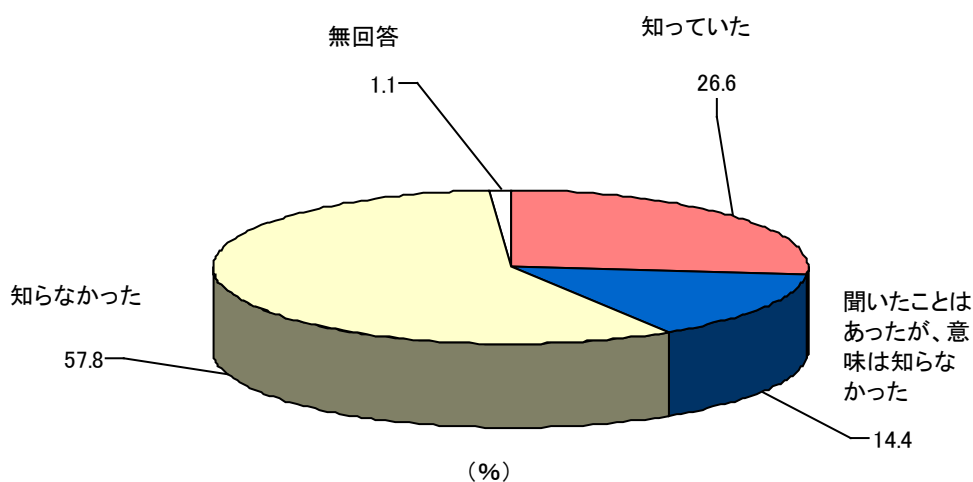
地中にしみこんだ水は、一部は地面や植物からの蒸発散によって再び大気中に水蒸気として存在し、また一部は地下水として地中を流れ、ゆっくりと河川や海に流れていきます。このように、水が自然の中でかたちを変えながらぐるぐるめぐることが、「水循環」といいます。

本市では、水循環の回復に向けて、雨水の地下浸透のほかに、公園や街路への植樹などの緑化、河川やため池の水質調査や地下水の調査などを行っています。

「水循環」の回復とともに、人にも生き物にもやさしい水辺や緑がある街づくりを市民生活の中でバランスよく取り組んでいく状態にすることを「水の環（わ）復活」として取り組んでいきます。

問21 あなたは「水循環（水の環）」という言葉を知っていましたか。（○は1つだけ）

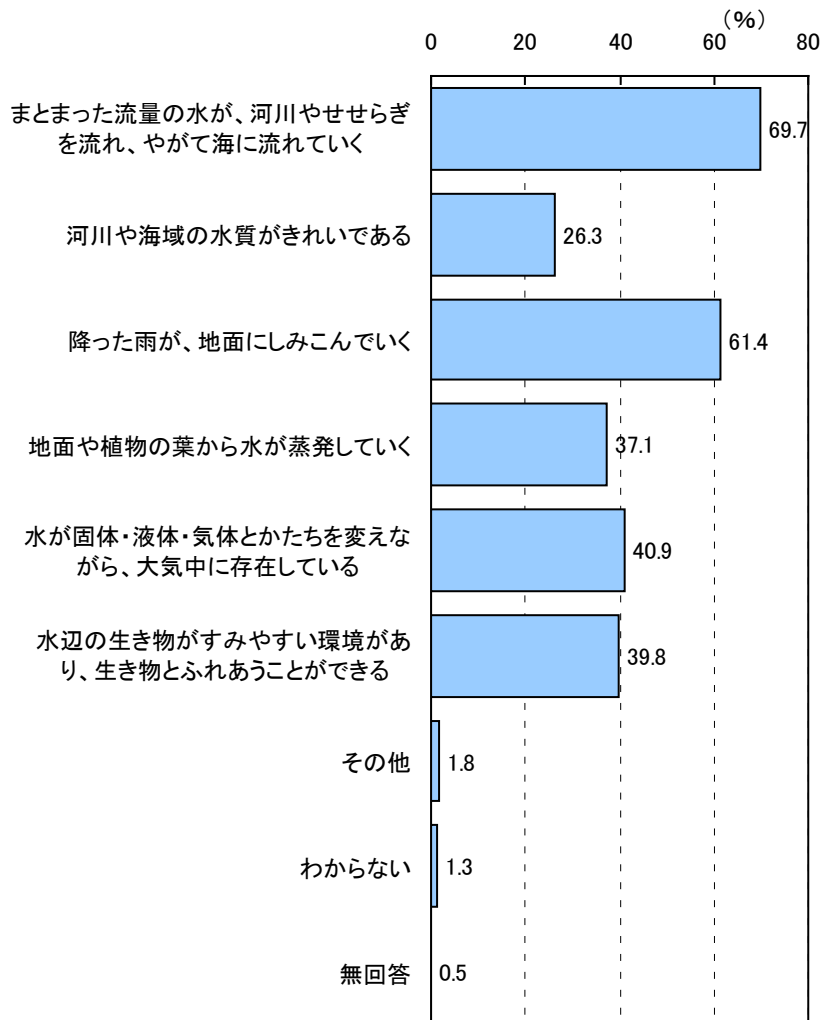
N=972



《問 21 で 1、2 と答えた方（「水循環（水の環）」を知っていた（聞いたことがある）方）におたずねします。》

問 22 あなたは「水循環（水の環）」という言葉にどのようなイメージがありましたか。  
（〇はいくつでも）

N = 399

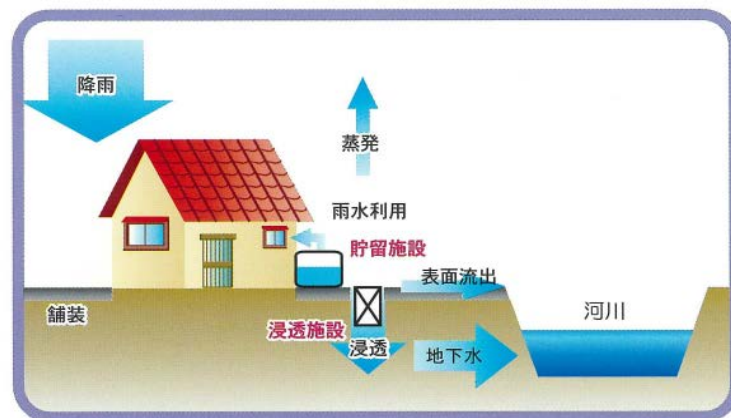


<雨水の地面への浸透について>

市内では、都市化が進んで、道路や駐車場がアスファルトやコンクリートに覆われ、降った雨が地面にしみこみにくくなっています。地面にしみこまなかった雨水は、下水道や地表を流れて河川に流れ込みます。そのため、豪雨時には大量の雨水が河川に一気に流入することによって、洪水を引き起こす危険性が増しています。

名古屋市では、豪雨時の洪水を防止することを目的として、公園や公共施設への雨水の貯留施設の設置や、雨水を地下へしみこませる施設（透水性舗装、雨水浸透マスなど）の設置を進めています。

家庭でも、雨どいを利用した雨水貯留タンクを設置することで、雨水を植物の水やりなどに利用したり、雨水を地面にゆっくりしみこませたりすることができます。また、駐車場の舗装を\*透水性舗装にしたり、\*雨水マスなどを浸透マスにすることで、雨水の地面へのしみこみ（地下浸透）を行うことができます。

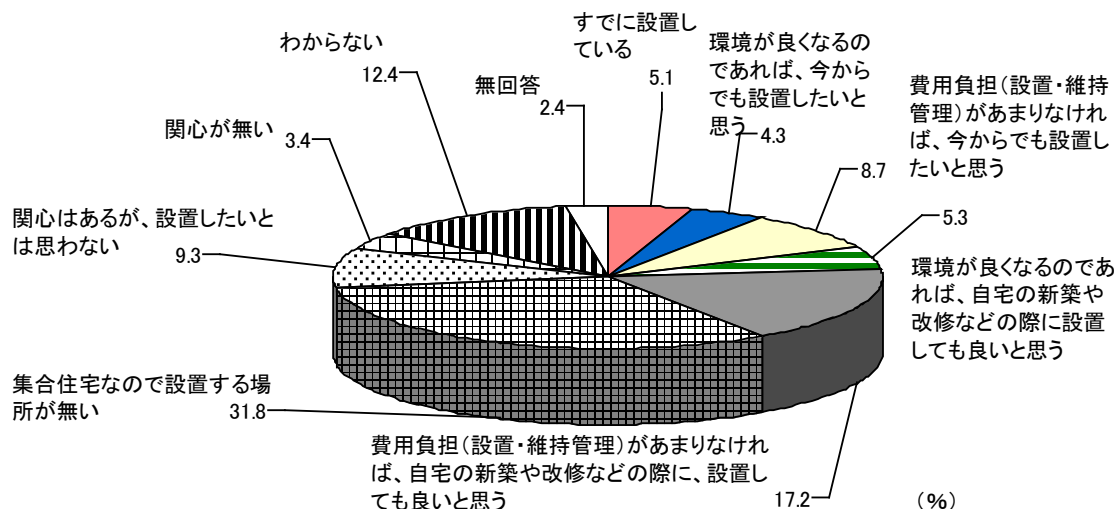


<雨水浸透・雨水貯留のイメージ>

- \*「透水性舗装」とは、道路や歩道をすき間の多い素材で舗装し、雨水を地下に浸透させやすくしたものです。
- \*「雨水マス」は雨水を側溝へそのまま放流しますが、「浸透マス」は雨水を地下に浸透させることができます。

問23 あなたのご自宅などに雨水浸透施設（透水性舗装や浸透マスなど）や雨水貯留施設を設置することについてどのように思いますか。（○は1つだけ）

N = 972

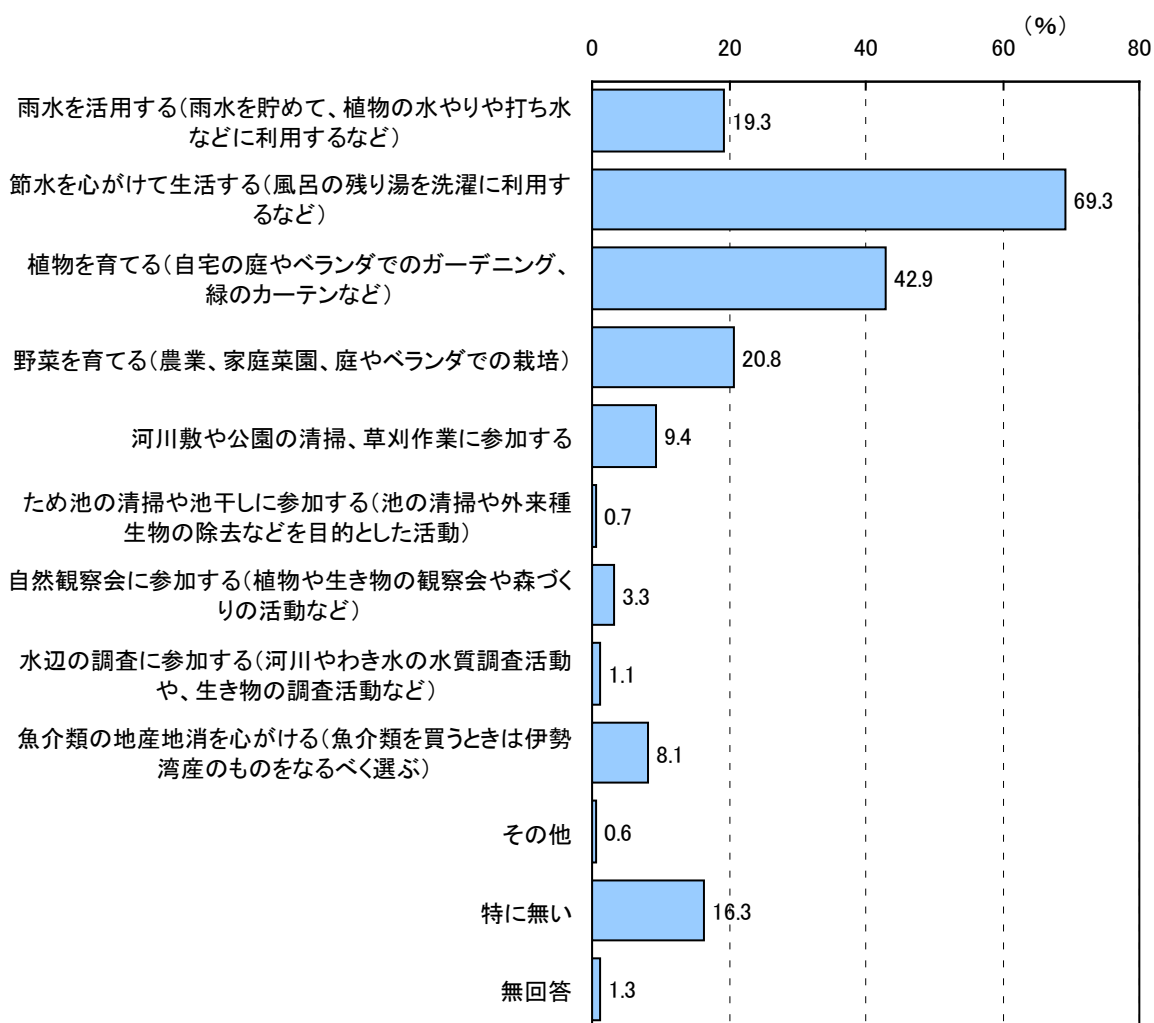


## <水の環復活に向けた取り組みについて>

「水の環復活」のためには、行政による取り組みだけではなく、市民ひとりひとりの協力が必要です。身近な環境を守るために、地域や学校などで学ぶ機会を設けたり、ひとりひとりが生活の中でできることからやってみたりして、「水の環復活」についての理解を深めていくことが大切です。身近な環境を守るとともに、「水の環復活」にも役立つ取り組みについて考えてみましょう。

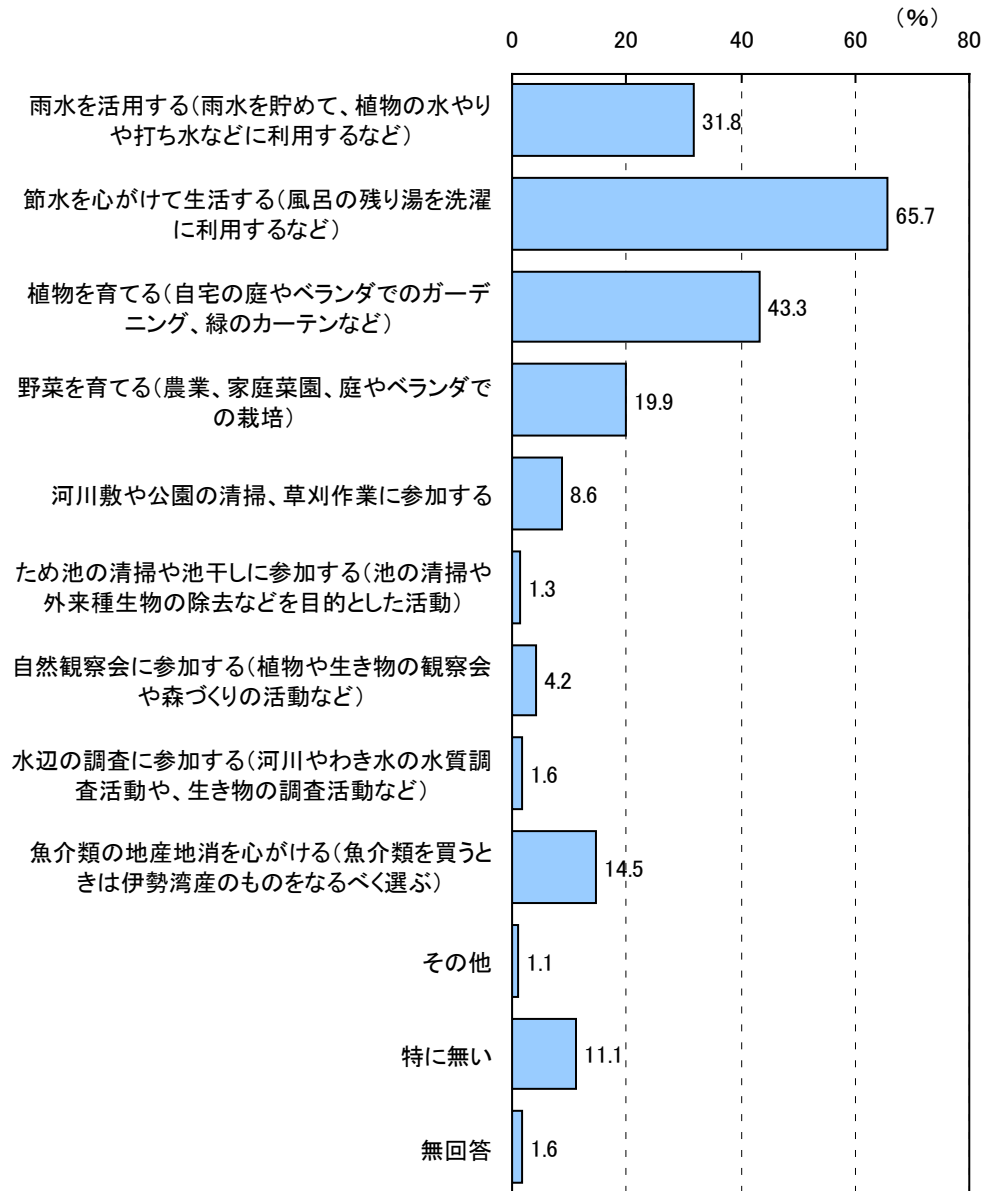
問24 あなたが現在取り組んでいる、または、これまでに取り組んだことがある取り組みは何ですか。(〇は**いくつでも**)

N = 972



問25 あなたが今後新たに取り組んでみたいこと、または、今後も引き続き取り組んでいきたいことは何ですか。（〇は3つまで）

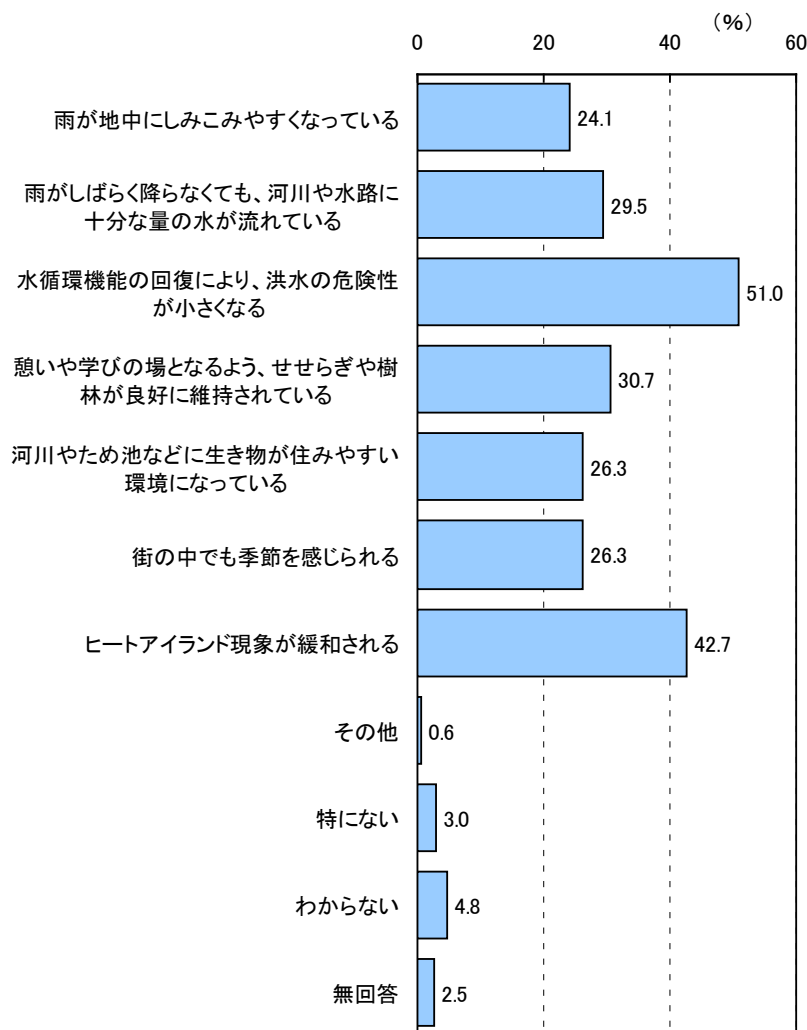
N=972



<名古屋市のあるべき姿について>

問26 水の環が復活した名古屋市の将来像として、特に実現してほしいと思われることはな  
 nderですか。（〇は**3つまで**）

N=972



問27 「水循環（水の環）」についてご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- 水循環の情報発信が少ない。もっと具体的な取り組みとその目的に対する必要性を発信してください。
- 身近な水の環として堀川の存在は大きいですが、自然の力ではなく人の力で少しでも改善されるとよい。
- 最近の集中豪雨は予想を超えて襲う傾向があり、河川の氾濫がないように願います。また道路でも排水が悪いところがあり対応を願います。
- もっと道路の舗装を地中に水がしみこみやすいものにかえて欲しい。
- 「水の環」復活のために自分なりにできることがあったら少しでも取り組んでいきたい。
- 緑の多い街にして欲しい。

ほか